

CR310 リモート コントロール

取扱説明書



Hear now. And always



Cochlear™ (コクレア®) CR310 リモートコントロールは、コクレア Nucleus 7 サウンドプロセッサ (モデル番号: CP1000) のよく使う機能を手元で操作するための携帯型機器です。

リモートコントロールでは、以下の操作ができます。

- プログラムの変更
- 音量/感度 (使用可能な場合) の調整
- True Wireless™ (トゥルーワイヤレス) アクセサリからの音声ストリーミングのコントロール
- テレコイルのオン/オフ

2 つの Nucleus 7 サウンドプロセッサを左右両側に装着している場合は、1 つのリモートコントロールで一度に両方のサウンドプロセッサと通信できます。

本書は、Nucleus 7 サウンドプロセッサを使用しているコクレア人工内耳装用者とその介助者を対象としています。詳しくは、『Nucleus 7 サウンドプロセッサ取扱説明書』を参照してください。



アドバイス

リモートコントロールと電池の使用に関連する警告および注意については、「警告」のセクションを参照してください。

本取扱説明書で使用されている記号



アドバイス

重要な情報やアドバイスです。



ヒント

効率的にお使いいただくためのヒントです。



注意

安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。機器が破損する恐れがあります。



警告

安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。人体に有害となる恐れがあります。

CR310 リモートコントロール



リモートコントロール上のその他の表示



目次

電源

電池	4
電池の交換	4

使用

電源を入れる	6
電源を切る	7
通信範囲外	7
ペア設定	8
プログラムの変更	10
音量/感度の調整	12
ワイヤレスアクセサリ	13
テレコイル	14
FM 補聴援助システム	15
旅行	15

お手入れ

清掃 16

リモートコントロールが濡れた場合 16

トラブルシューティング 18

警告 20

その他の情報 22

電池

電池残量低下マークが表示されている場合、またはリモートコントロールの電源を入れようとしてもディスプレイに何も表示されない場合は、電池を交換します。電池は最大3か月持ちます (リモートコントロールを1日に約15回使用した場合)。



電池の交換



警告

リチウム電池を飲み込むと、重大な障害または死亡につながる恐れがあります。飲み込んだ場合は、直ちに緊急治療を受けてください。子どもの手の届かない所に置いてください。使用する直前まで元のパッケージに入れたままにしてください。使用済みの電池は直ちに廃棄してください。



1. 小型のプラスドライバーでネジを反時計回りに回して緩め、電池カバーを外せる状態にします。



2. 電池カバーをスライドさせて外し、電池を取り出します。



3. 新しい電池を入れます。プラス記号 (+) の面が上になるようにします。電池用端子が損傷しないように注意してください。

**注意**

リモートコントロールでは、必ず CR2032 または 5004LC 3V の使い捨てコイン型リチウム電池を使用してください。充電式コイン電池やその他の種類の電池は絶対に使用しないでください。



4. 電池カバーの下端を差し込み、カバーを元通りに取り付けます。



5. 小型のプラスドライバでネジを時計回りに回してしっかりと締め、電池カバーを固定します。

電源を入れる

スイッチを上へスライドさせて電源を入れます。



スイッチが上の位置にあるときにリモートコントロールをしばらく操作しないと、スリープ状態になります。いずれかのボタンを押すと、スリープ状態から復帰します。

電源を切る

スイッチを下へスライドさせて電源を切ります。



ヒント

使用时以外にリモートコントロールがスリープ状態から復帰しないようにするため、ポケットに入れて持ち運ぶときなどには電源を切ってください。

通信範囲外



サウンドプロセッサが通信範囲外にあるか、電磁波干渉を受けている場合、リモートコントロールに線が表示されます(左図を参照)。

ペア設定

ペア設定することで、2つの機器が相互に通信できるようになります。担当の医師または医療従事者がリモートコントロールとサウンドプロセッサをすでにペア設定している場合もあります。まだペア設定されていない場合は、リモートコントロールを初めて使用するとき自分でペア設定する必要があります。



リモートコントロールがどのサウンドプロセッサともペア設定されていない場合は、リモートコントロールのディスプレイに線が表示され(左図を参照)、いずれかのボタンを押すと表示が点滅します。

サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する



1. サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源を切ります。



2. サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源を入れます。スリープ状態になっている場合は、スリープ状態を解除してください。

- 送信コイルをリモートコントロールの裏面に当てます。



- リモートコントロールのディスプレイに、ペア設定が進行中であることが表示されます。



- ペア設定が成功すると、ペア設定されたサウンドプロセッサの側が表示されます (左側の場合は「L」、右側の場合は「R」)。



- 左右両側で2つのサウンドプロセッサを使用している場合は、2つ目のサウンドプロセッサについて1～5の手順を繰り返します。



プログラムの変更

サウンドプロセッサには最大4つのプログラムを設定できるようになっており(プログラムの設定は担当の医師または医療従事者が行います)、着用者はリモートコントロールを使ってプログラムを選択できます。



両側のサウンドプロセッサの操作

両側に Nucleus 7 サウンドプロセッサを装着している場合は、リモートコントロールで同時に両方のサウンドプロセッサを操作できます。

2つのサウンドプロセッサの設定がそれぞれ異なっている場合（片方をサウンドプロセッサ本体のボタンで調整した場合など）、リモートコントロールには、左側のサウンドプロセッサのプログラムと音量/感度設定が表示されます。どちらかのサウンドプロセッサでテレコイルまたはワイヤレスアクセサリがオンになっている場合は、それを示すアイコンがリモートコントロールに表示されます。

現在の設定の表示

リモートコントロールの電源を入れると、現在の設定（音量など）が表示されます。リモートコントロールの電源を切っている間にサウンドプロセッサ本体のボタンまたは Nucleus Smart（ニュークリアス スマート）アプリを使って設定を変更した場合も、その変更がリモートコントロールの表示に反映されます。

音量/感度の調整

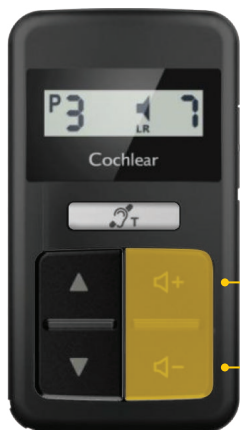
通常、担当の医師または医療従事者は、音量を調整できるようにリモートコントロールを設定します。感度を調整できるように設定してもらうこともできます。



注意

音量を頻繁に調整しなければならない場合や、音量を調整すると不快感が生じる場合は、担当の医師または医療従事者にご相談ください。

音量は、聞こえる音の大きさです。感度は、小さな音、背景音、近くや遠くの音など、聞こえる音の範囲です。音量は最大 10 レベルまで、感度は最大 21 レベルまで設定できます。



このボタンを押すと、
音量/感度が上がる

このボタンを押すと、
音量/感度が下がる

ワイヤレスアクセサリ

コクレア True Wireless™ (トゥルーワイヤレス) アクセサリをサウンドプロセッサとともに使用する場合は、リモートコントロールを使用してワイヤレスアクセサリの操作と状態のモニタリングを行うことができます。



アドバイス

音声をストリーミングする前に、ワイヤレスアクセサリをサウンドプロセッサとペア設定する必要があります。詳しくは、『True Wireless アクセサリ取扱説明書』を参照してください。

ミニマイクロホンまたはテレビストリーマーを使用するには



1. 音声のストリーミングを開始するには、テレコイルボタンを2秒間長押ししてから放します。

アクセサリアイコンが表示されます。



ヒント

テレコイルボタンをもう一度長押しすると、ペア設定された次のワイヤレスアクセサリが選択されます。



2. 音声のストリーミングを停止するには、テレコイルボタンを短く押します。

アクセサリアイコンが消えます。



アドバイス

フッククリップの操作ボタンを使用すると、電話の受発信ができます。

テレコイル

ヒアリンググループからの音声を聞くためには、担当の医師または医療従事者に、手動でテレコイルをオン/オフできるようにサウンドプロセッサを設定してもらう必要があります。

テレコイルをワイヤレスアクセサリと同時に使用することはできません。



アドバイス

電話を使用する場合は、コクレア Wireless Phone Clip (ワイヤレスフォーンクリップ) (『True Wireless アクセサリ取扱説明書』を参照) または対応する iPhone® (『Nucleus 7 サウンドプロセッサ取扱説明書』を参照) の使用を推奨します。

テレコイルをオンにする (設定されている場合)



1. テレコイルボタンを1回短く押します。

テレコイルアイコンが表示されます。

テレコイルをオフにする



1. テレコイルボタンを1回短く押します。

テレコイルアイコンが消えます。

FM 補聴援助システム

FM 補聴援助システムをサウンドプロセッサに接続すると、そのアクセサリが自動的にオンになり、リモートコントロールにアクセサリアイコンが表示されます。

テレコイルがオンになっている場合は、自動的にオフになります。

FM 補聴援助システムをオフにする



1. テレコイルボタンを1回短く押します。
アクセサリアイコンが消えます。

FM 補聴援助システムを再びオンにする



1. テレコイルボタンを1回短く押します。
アクセサリアイコンが表示されます。

旅行

電源の入っているリモートコントロールは高周波電波を送出します。

飛行機の離着陸時には、安全のため電源を切ってください。ご不明な点は、搭乗前に航空会社のスタッフにご確認ください。

清掃

リモートコントロールは清潔に保ち、濡れないようにしてください。

リモートコントロールのディスプレイと操作ボタンは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

リモートコントロールが濡れた場合



1. 乾いた柔らかい布でリモートコントロールの水分を拭き取ります。



2. 電池を取り出します。

「電池の交換」(4ページ)を参照してください。



3. 暖かく風通しの良い場所 (子どもの手が届かず、直射日光が当たらない場所)にリモートコントロールを置き、約12時間乾かします。



注意

リモートコントロールを乾かす際、乾燥用キットや家庭用電気機器 (ドライヤーなど) を使用しないでください。



4. 新しい電池を入れます。
「電池の交換」(4 ページ) を参照してください。



アドバイス

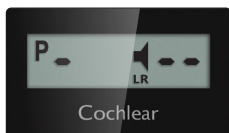
電池を交換する前に、リモートコントロールに水分が残っていないか確認します。水分が残っている場合は、同じ手順をもう一度繰り返します。

トラブルシューティング

問題

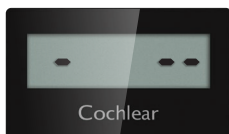
解決策

リモートコントロールでプログラムの変更や音量/感度の調整ができない



- ・ 両側にサウンドプロセッサを装着している場合は、両方のサウンドプロセッサの電源が入っていることを確認します。
- ・ リモートコントロールをサウンドプロセッサに近づけます。
- ・ リモートコントロールを、金属性のもの (鍵など) や干渉を引き起こす可能性があるもの (携帯電話、Bluetooth 機器、Wi-Fi 機器など) から遠ざけます。

リモートコントロールに線しか表示されない



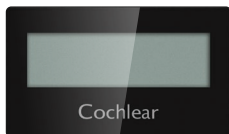
- ・ リモートコントロールとサウンドプロセッサをペア設定します。「サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する」(8 ページ) を参照してください。

リモートコントロールにペア設定エラーが表示される



- ・ 担当の医師または医療従事者にご連絡ください。

リモートコントロールの電源が入らない、またはスリープ状態が解除されない (ディスプレイに何も表示されない)



- ・ 電池を交換します。「電池の交換」(4 ページ) を参照してください。

問題	解決策
サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定できない	<ul style="list-style-type: none">サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源が入っていて、スリープ状態から復帰していることを確認します。送信コイルをリモートコントロールの裏面に当てたまま、リモートコントロールのペア設定が完了するのを待ちます。担当の医師または医療従事者に連絡ください。
テレコイルボタンを押してもテレコイルがオンにならない	<ul style="list-style-type: none">ワイヤレスアクセサリからサウンドプロセッサに音声が発送されていないことを確認します。サウンドプロセッサのテレコイル機能が有効に設定されているかどうかを担当の医師または医療従事者に確認します。
テレコイルボタンを押してもテレコイルがオフにならない	<ul style="list-style-type: none">リモートコントロールのどのボタンも押さずに 5 秒以上待つから、テレコイルボタンを 1 回押します。
テレコイルボタンを押してもワイヤレスアクセサリからの音声のストリーミングがオンまたはオフにならない	<ul style="list-style-type: none">ワイヤレスアクセサリの電源が入っていることを確認します。ワイヤレスアクセサリがサウンドプロセッサとペア設定されていることを確認します。

警告

- リチウム電池を飲み込むと、重大な障害または死亡につながる恐れがあります。飲み込んだ場合は、直ちに緊急治療を受けてください。子どもの手の届かない所に置いてください。使用する直前まで元のパッケージに入れたままにしてください。使用済みの電池は直ちに廃棄してください。
- リモートコントロールがいつもよりも熱くなっている場合は、使用しないでください。すぐに担当の医師または医療従事者に知らせてください。
- コイン型電池などの小さな部品は、窒息を招く原因となり得ます。電池カバーは常に確実に固定してください。電池の交換は、子どもの手が届かない場所で行ってください。幼児に電池を交換させないでください。
- この機器を改造することは禁じられています。
- リモートコントロールを分解、改造したり、変形させたり、水に浸したりしないでください。リモートコントロールが正常に機能しない場合は、担当の医師または医療従事者にご相談ください。分解した場合、保証は無効になります。
- リモートコントロールの表面を拭くときは、必ず乾いた柔らかい布を使用してください。
- リモートコントロールのお手入れに、アルコール、家庭用の洗剤または研磨剤を使用しないでください。
- リモートコントロールのディスプレイを曲げたり、強く押したりしないでください。

- ・ リモートコントロールを濡らさないでください。
- ・ リモートコントロールを熱にさらさないでください。たとえば、直射日光の当たる場所、窓のそば、車の中などに置かないでください。
- ・ 湿気やほこりが多い場所では、リモートコントロールを保護してください。
- ・ ディスプレイを傷つける恐れのあるものからディスプレイを保護してください。
- ・ リモートコントロールの電源が入っているときは、金属性のものをディスプレイに近づけないでください。干渉を引き起こす恐れがあります。
- ・ リモートコントロールを体内（口の中など）に入れしないでください。
- ・ リモートコントロールは、幼児の手が届かない場所に置いてください。
- ・ リモートコントロールは、生命維持装置（心臓ペースメーカーや ICD など）に干渉する可能性のある電磁エネルギーを放射します。リモートコントロールは、このような機器から 15 cm 以上離してください。詳細については、該当機器の製造業者にお問い合わせください。

磁気共鳴画像診断 (MRI) 検査



Nucleus 7 サウンドプロセッサ、リモートコントロール、および関連アクセサリ (ワイヤレスプログラミングポッドなど) は、MR 対応ではありません。

MRI の安全性に関する詳細情報は、www.cochlear.com/warnings を参照するか、最寄りのコクレア社にお問い合わせください (連絡先の電話番号は本書の末尾に記載されています)。

その他の情報

物理構成

リモートコントロールは以下のもので構成されています。

- アナログおよびデジタル集積回路 - マイクロプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えている
- 本体を操作するためのスイッチとボタン
- サウンドプロセッサを遠隔操作するためのボタン
- システムの状態と動作を表示するディスプレイ
- 内蔵コイルセンサ
- ストラップ取付用ピン

材質

リモートコントロールの筐体とボタンは、ポリカーボネートおよびアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン (ABS 樹脂) 製です。ディスプレイは ABS 樹脂製です。

環境条件

条件	最小	最大
保管および輸送時の温度	-10 °C	+55 °C
保管および輸送時の湿度	0% RH	90% RH
動作時の温度	+5 °C	+40 °C
動作時の相対湿度	0% RH	90% RH
動作時の気圧	700 hPa	1060 hPa

寸法

構成部品	長さ	幅	厚さ
CR310 リモート コントロール	66.0 mm	36.5 mm	10.6 mm

重量

構成部品	重量
CR310 リモートコントロール (電池を含む)	35 g

動作特性

特性	値/範囲
ワイヤレス技術	独自の小電力双方向ワイヤレス接続
無線周波数	2.4 GHz (範囲 2.40 ~ 2.83 GHz)
電池の種類	CR2032 または 5004LC の使い捨てコイン型リチウム電池 1 個
電池の作動電圧	2.12 ~ 3.00 V
ボタンとスイッチの機能	リモートコントロールの電源を入れる/切る、テレコイル/ワイヤレスアクセサリのオン/オフ、プログラムの調整、音量/感度設定の調整
リモート通信範囲	少なくとも 2 m
ディスプレイ	アイコン表示モノクロ特別仕様 LCD

ワイヤレス通信接続

リモートコントロールのワイヤレス通信接続は、2.4 GHz ISM 帯域で、4 つのチャンネル上で GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying) を使用して行われます。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、サウンドプロセッサから少なくとも 2 m の距離で通信できます。特定のチャンネルでの干渉を避けるため、4 つのチャンネルが絶えず切り替えられます。サウンドプロセッサが操作範囲外に出るか (またはサウンドプロセッサの電源が切られたか)、または広域干渉によって接続が妨害されると、リモートコントロールのディスプレイにその旨が表示されます (7 ページを参照)。

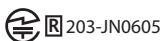
機器の分類

本リモートコントロールは、国際規格 IEC 60601-1:2005/A1:2012「Medical Electrical Equipment – Part 1: General Requirements for Basic Safety and Essential Performance」で規定されている医療機器のアクセサリです。

日本での無線規定遵守

本機器は、日本の電波法と電気通信事業法に従って認可されています。

本機器を改造してはいけません (改造した場合は技術基準適合証明番号が無効になります)。



表示記号

リモートコントロールとそのパッケージには、以下の記号が表示されていることがあります。



取扱説明書を参照



本機器に関連する、ラベルには記載されていない特定の警告または注意



製造業者



対応するサウンドプロセッサ



欧州共同体における正式代表者



カタログ番号



シリアル番号



バッチコード



製造年月日



温度制限



公認機関の番号が付いた CE 登録マーク

 203-JN0605 日本での無線規格適合証明 (技適マーク)

Rx Only

医家向け



リサイクル可能な材料



電気部品は各地域の規制に従って処分してください



乾燥した場所に保管してください。

法的事項

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

本書は、日本語版添付文書の内容を補足するものです。日本語版添付文書と内容が異なる場合は、日本語版添付文書が優先されます。

© Cochlear Limited 2018

Hear now. And always

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia

Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia

Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany

Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770

Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA

Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025

Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada

Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083

Cochlear AG EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland

Tel: +41 61 205 8204 Fax: +41 61 205 8205

Cochlear Europe Ltd 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom

Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426

Cochlear Benelux NV Schalliehoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium

Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70

Cochlear France S.A.S. 135 Route de Saint-Simon, 31035 Toulouse, France

Tel: +33 5 34 63 85 85 (International) or 0805 200 016 (National) Fax: +33 5 34 63 85 80

Cochlear Italia S.r.l. Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy

Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62

Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden

Tel: +46 31 335 14 61 Fax: +46 31 335 14 60

Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.

Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey

Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919

Cochlear (HK) Limited Room 1404-1406, 14/F, Leighton Centre, 77 Leighton Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183

Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon Building 33, Teheran-ro 8 gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea

Tel: +82 2 533 4450 Fax: +82 2 533 8408

Cochlear Medical Device (Beijing) Co., Ltd

Unit 2608-2617, 26th Floor, No.9 Building, No.91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China

Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900

Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.

Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India

Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100

株式会社日本コクレア (Nihon Cochlear Co Ltd) 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル

Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245

Cochlear Middle East FZ-LLC

Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates

Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925

Cochlear Latinoamérica S.A.

International Business Park, Building 3835, Office 403, Panama Pacifico, Panama

Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218

Cochlear NZ Limited

Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand

Tel: + 64 9 914 1983 Fax: 0800 886 036

www.cochlear.com

販売名: Nucleus 7 サウンドプロセッサ

承認番号: 23000BZX00310000

本取扱説明書には医療機器に該当しない製品も含まれます。

ACE, Advance Off-Stylet, AOS, AutoNRT, Autosensitivity, Beam, Button, CareYourWay, Carina, Cochlear, 科利耳, コクレア, Cochlear SoftWear, Codacs, ConnectYourWay, Contour, Contour Advance, Custom Sound, ESprit, Freedom, 「Hear now. And always」, HearYourWay, Hugfit, Hybrid, Invisible Hearing, Kanso, MET, MicroDrive, MP3000, myCochlear, mySmartSound, NRT, Nucleus, Off-Stylet, Slimline, SmartSound, Softip, SPrint, True Wireless, 楕円形のロゴ、WearYourWay, および Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium, Baha, Baha SoftWear, BCDrive, DermaLock, EveryWear, Vistafix, および WindShield は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

© Cochlear Limited 2018

D817753 ISS2

Japanese translation of D1349969 ISS1 JUL18

